



新型コロナウイルスワクチン – よくある質問

安全性と副反応



COVID-19ワクチンの一般的な副反応はどのようなものですか？

新型コロナワクチン接種後の一般的な副反応は次のとおりです。

- 注射した腕（または幼い子供の場合は太もも）の痛み、発赤または腫れ
- 発熱、悪寒、
- 頭痛
- 倦怠感
- イライラする、またはよく泣く（幼い子供の場合）
- 筋肉や関節の痛み
- リンパ節の腫れ
- 吐き気、食欲不振

これらの副反応は、日常生活に多少影響を及ぼすかもしれませんが、1日か2日以内に体調は改善するはずで、ほとんどの場合、副反応は軽度で、まったく副反応が出ない人もいます。

副反応は正常な反応であり、ワクチンが効果を現していることを示しています。これはあなたの体がウイルスと戦うことを覚え、免疫力を高めていることを示しています。前回の接種後に副反応が出た場合でも、ワクチン接種提供者または医師があなたに接種を受けないよう指示しない限り推奨されるすべての接種を受けることが重要です。

CDCの「[COVID-19ワクチン接種後に起こりうる副反応](#)」をご覧ください。

新型コロナワクチンの接種を受けた後、副反応がなかった場合はどうなりますか？

新型コロナワクチンの接種後の反応は、人によって異なります。新型コロナワクチンの臨床試験への参加者の多くに軽度の副反応が現れましたが、まったく副反応がなかった人もいます。それでも、これらの人々はワクチンに対して強い免疫応答を示しました。ワクチン接種は、接種後の副反応の有無に関わらず、新型コロナウイルス感染による重症化からあなたを守ります。

深刻な副反応はありますか？

はい、深刻な副反応が出る場合がありますが、非常にまれなことです。ワクチン安全性監視システムは、以下に説明する4つの深刻な健康問題を特定しています。現在、Pfizer、Moderna、Novavaxの新型コロナワクチンは、J&Jワクチンよりも推奨されています。その理由の1つとして、稀ではありますがJ&Jワクチンに関連する深刻な副反応の可能性があるためです。ワクチン接種を受けた場合は、「[ワクチン接種の副反応](#)」を参照して、注意すべき症状について詳しく知っておきましょう。

- **アナフィラキシー**：アナフィラキシーは、薬の服用やどのワクチンの接種後にも発生する可能性のある、稀ではありますが深刻なアレルギー反応です。新型コロナウイルスに対するワクチン接種後は短時間の経過観察が行われるので、アナフィラキシーが発生した場合でも直ちに治療を施すことができます。他の深刻ではないアレルギー反応が起こる場合もあります。詳細については、CDCのウェブページ「[COVID-19ワクチン接種後のアレルギー反応](#)」をご覧ください。
- **Pfizer、Moderna、または Novavax のワクチン接種後の心筋炎と心膜炎**：心筋炎は心臓の筋肉の炎症であり、心膜炎は心臓の外膜の炎症です。新型コロナワクチン接種後の心筋炎および心膜炎の発症はまれです。ワクチン接種後に心筋炎または心膜炎を発症した人のほとんどは、投薬と



新型コロナウイルスワクチン – よくある質問 安全性と副反応

休息で改善し、早期に体調が回復しています。これらの症状を経験した人は大抵症状の改善後、普段通りの生活に戻ることができます。

Pfizer と Moderna のワクチン：ほとんどの症例は、ワクチンの 2 回目の接種後に報告されています。青年期と若年成人の男性での発症が多く見られます。1 回目と 2 回目の接種間隔を延長すると、心筋炎のリスクが低下することが分かっています。これが、現在 10 代の子供と若年成人に対して最初の接種から 8 週間後に 2 回目の接種を受けることを検討することが推奨されている理由の 1 つです。心筋炎のリスクは、ワクチンの 2 回目の接種後よりもブースター接種後の方が低いと思われます。

生後 6 か月から 11 歳の子供は、12 歳以上を対象とした Pfizer ワクチンと比較して低用量の接種を受けます。CDC による最近の[報告](#)では生後 6 ヶ月から 5 歳までの子供における新型コロナワクチン接種後の心筋炎リスクの増加は見られていません。[CDC が発表した研究](#)では、5～11 歳の子供に対して約 800 万回の Pfizer ワクチンの小児接種が行われたうち、心筋炎の症例が 11 件報告および確認されています。これらの症例のほとんどが軽症で、早期に回復しています。

5 歳以上の人々を対象とした最近の[研究](#)では、心筋炎、心膜炎、多系統炎症性疾患 (MIS-C) などの心臓合併症のリスクは、COVID-19 感染後の方が、Pfizer または Moderna ワクチンの 1 回またはそれ以上のワクチン接種後よりも高いことが明らかになっています。これは、すべての年齢層の男性と女性に見られました。また、重要なのはワクチン接種に関連した心筋炎は軽度であり、他の原因による心筋炎ほど長くは続かないということです。

Novavax のワクチン：心筋炎と心膜炎の症例は Novavax の新型コロナワクチンにも報告されています。Novavax のワクチンを 1 回目に受けた後、2 回目の接種まで 8 週間の間隔をあけることで、これらの稀な症状のリスクを軽減できる可能性があります。

新型コロナウイルス感染症は、脳卒中、急性冠症候群、心筋梗塞（心臓発作）、心不全（不整脈）、心臓死、および心筋炎と心膜炎のリスクの増加に関連していることを心に留めておくことが重要です。

- **J&J ワクチン接種後の血小板減少症候群を伴う血栓症 (TTS)**：血栓と血小板減少を伴う TTS の発生はまれではありますが、深刻な病状であり、時に致命的です。TTS は、J&J ワクチンの接種を受けた幅広い年齢層の男女で報告されています。18～49 歳の女性は、まれではありますが、この有害事象リスクの増加に特に注意する必要があります。詳細については、CDC の [COVID-19 ワクチン接種後に報告された有害事象](#)をご覧ください
- **J&J ワクチン接種後のギランバレー症候群 (GBS)**：GBS は、体内の免疫系が神経細胞に損傷を与えるまれな疾患です。筋力低下や、時には麻痺を引き起こします。大抵の人は、完全に回復しますが、永続的な神経への損傷が残る人もいます。GBS は、J&J 製ワクチンの接種者に起きる副反応として報告されています。男性にこの症状がよく見られ、特に 50 歳以上の男性に多いとされています。GBS を発症した人のうち、ほぼすべての方がワクチンを接種後 6 週間以内に発症しています。その中の多くは最初の 3 週間で発病しています。詳細については、CDC の [新型コロナワクチン接種後に報告された有害事象](#)をご覧ください。

詳細については、CDC の [COVID-19 ワクチン接種後に報告された有害事象の一部](#)をご覧ください。



新型コロナウイルスワクチン – よくある質問 安全性と副反応

現在までに、米国では6億300万回以上の新型コロナワクチン接種が行われています。副反応が発生することはありますが、非常にまれです。現時点で受けることのできるすべてのワクチン接種を済ませることのベネフィットはそのリスクを上回っています。

COVID-19ワクチンは長期的な副反応を引き起こす可能性がありますか？

いいえ。長期的な副反応は非常に稀です。他のワクチンから得られる知見から、副反応が発生する場合、通常ワクチン接種を受けてから6週間以内に発生することが予測されます。このため食品医薬品局 (FDA) は、認可されたそれぞれの新型コロナワクチンを少なくとも8週間臨床試験で研究することを要請しています。また、ワクチンの使用が承認/認可されている場合でも、ワクチンの臨床試験参加者は引き続き追跡調査されています。さらに、CDCは引き続き承認及び認可され、使用されている新型コロナワクチンを注意深く監視しています。新型コロナワクチンが広く使用されてから約1年以上（ワクチン臨床試験の開始よりも長く）経っています。何百万もの人々が新型コロナワクチン接種を受けており、ワクチンからの長期的な副反応は見つかっていません。

それに対して、新型コロナウイルス感染症を引き起こすウイルスは、成人と子供の両方にいくつかの長期的な副反応を起こすことがわかっています。例えば、疲労感、不眠、頭痛、息切れなどの症状を、新型コロナウイルスに感染してから何か月後までも継続して経験している人がいます。これらの症状は、[コロナ後遺症](#)と呼ばれています。さらに、[多系統炎症性症候群](#)と呼ばれる重篤な状態は、小児 (MIS-C) と成人 (MIS-A) に影響を与える場合があります。MISは、心臓、肺、腎臓、脳、皮膚、目、胃腸器官など、さまざまな体の部分が炎症を起こす、新型コロナウイルス感染症に関連する、まれではありますが、深刻な状態です。患者の多くは入院する必要があり、残念なことに、亡くなる方もいらっしゃいます。ワクチンはこれらのウイルスの「長期」の影響に対する保護を提供します。

ワクチン接種後に副反応が発生した場合、どのように報告すれば良いですか？

ワクチン接種後に有害事象（副反応疑い）が現れた場合は、ワクチンが原因であるかどうか分からない場合でも、VAERSに報告してください。ワクチン有害事象報告システムは、FDAとCDCが発生しうる安全上の問題を検出するために使用している早期警告システムです。報告するには、1-800-822-7967に電話するか、<https://vaers.hhs.gov/reportevent.html>にアクセスしてください。

[V-Safe](#) (CDCのワクチン接種後の健康チェック) に登録した場合は、スマートフォンアプリから症状を報告することもできます。

VAERS、及びV-safe は医学的アドバイスを提供していません。新型コロナワクチン接種後に懸念される症状や健康上の問題がある場合は、医療従事者に相談するか、治療を受けてください。

ワクチンの成分は何ですか？

新型コロナウイルスワクチンの成分のほとんどすべては、脂肪、砂糖、塩など、多くの食品の成分でもあります。

さらに：

- および Moderna の COVID-19 ワクチンには、メッセンジャーRNA (mRNA) が含まれています。



新型コロナウイルスワクチン – よくある質問 安全性と副反応

- Johnson & Johnson/Janssen の COVID-19 ワクチンには、新型コロナウイルス感染症を引き起こすウイルスとは無関係の形態のウイルスが含まれています。
- Novavax の新型コロナワクチンには感染症を引き起こすウイルスの無害な粒子（タンパク質）が含まれます。これはスパイクタンパク質と呼ばれるものです。

これらの成分はあなたの体の細胞に免疫応答するように指示を与えます。この応答は、先で新型コロナウイルス感染症を予防するのに役立ちます。体が免疫応答した後は、細胞がもはや必要としない情報を破棄するのと同じように、すべてのワクチン成分を破棄します。このプロセスは、正常な身体機能の一部です。

また、Novavax の新型コロナワクチンには、体の免疫応答を強化するために「アジュバント」が含まれています。アジュバントは多くのワクチンに使用されています。

新型コロナワクチンには、防腐剤（チメロサルや水銀など）、組織（中絶胎児細胞や動物由来の物質など）、抗生物質、食品タンパク質（卵やナッツ製品など）、医薬品、ラテックス、金属などの成分は含まれていません。

[Pfizer](#)、[Moderna](#)、[Novavax](#)、及び [Johnson & Johnson](#) の COVID-19 ワクチンに含まれる成分と含まれない成分の詳細をご覧ください。

ワクチンから新型コロナウイルスに感染することはありますか？

いいえ。ワクチン接種により新型コロナウイルスに感染することはありません。どの新型コロナワクチンにも、感染症を引き起こすウイルスは含まれていません。ワクチンを接種後1~2日ほど発熱や、倦怠感などの症状を起こす場合があります。これらのワクチンの副反応は正常で、身体が免疫力を高めていることを示します。数日後には改善するはずで。

ワクチン接種を受けると、新型コロナウイルス検査で陽性反応を示しますか？

いいえ。ワクチンの接種により、現在の新型コロナウイルス感染を検出する PCR 検査、またはウイルス抗原検査（自己検査を含む鼻や喉のぬぐい液、または唾液の検査など）で陽性と判定されることはありません。一部の抗体（血液）検査で陽性が出る場合があります。これは、ワクチンが体に抗体を産生するように学習させているためです。

新型コロナウイルス検査の詳細は公衆衛生局の検査に関するウェブページ、ph.lacounty.gov/covidtests をご覧ください。

妊娠中、妊娠を計画している、または授乳中の人は、新型コロナワクチン接種を受けることができますか？

はい、新型コロナワクチン接種は、妊娠中、授乳中、または現在妊娠しようとしている人、および将来妊娠する可能性のある人に推奨されています。妊娠中に COVID-19 に感染した人は、早産（37 週以前）または死産になる可能性が高く、他の妊娠合併症を発症する可能性も高くなります。

妊娠中の新型コロナワクチン接種は、妊娠中の方々を重症化や死亡から守り、生後 6 か月未満の乳児が入院せずに済むよう保護してくれます。詳細は、[ワクチンに関するよくある質問：妊娠、授乳、および受胎能力について](#)、および CDC の [妊娠中または授乳中の新型コロナワクチン接種](#) のウェブページをご覧ください。

アレルギーのある人は新型コロナワクチン接種を受けることができますか？



新型コロナウイルスワクチン – よくある質問 安全性と副反応

場合によります。

- 経口薬、食品(卵を含む)、ラテックス、ペット、花粉などにアレルギーのある人、またはアレルギーの家族歴がある人は、ワクチン接種を受けることができます。
- ワクチンまたは注射療法に対してアレルギー反応を起こしたことのある人は、それが重症ではなかったとしても医師に相談して、ワクチン接種を受けても安全かどうかを判断する必要があります。
- ポリエチレングリコール (PEG) にアレルギーがある場合は、PfizerまたはModernaのワクチンの接種を受けないでください。J&JかNovavaxのワクチン接種を受けることができるかどうか医師に相談してください。
- ポリソルベートにアレルギーがある場合は、J&JやNovavaxのワクチンの接種は受けないでください。PfizerまたはModernaのワクチン接種を受けることができるかどうか医師に相談してください。

どのワクチンでもアナフィラキシー(重度のアレルギー反応)を起こすリスクはわずかにあります。

アレルギー反応に関する情報は変更される場合があります。CDCの「[アレルギーを持つ方と新型コロナワクチン](#)」のウェブページから最新のガイダンスを確認し、医師にご相談ください。

詳細情報はどこで入手できますか？



- この「よくある質問(FAQ)」またはその他の新型コロナワクチン関連項目に関するよくある質問(FAQ)を印刷または表示するには、QRコードを読み取るか、[新型コロナワクチンに関するよくある質問](#)にアクセスしてください。
- [VaccinateLACounty.com](#) – 接種時期を示す図表付き[新型コロナワクチン接種のスケジュール](#)及び[ワクチン接種を受ける方法](#)の情報を含む。
- CDCの[新型コロナウイルスワクチン](#)のウェブページ
- CDCの[新型コロナウイルス感染症に関する誤情報と事実](#)及び[新型コロナワクチン接種に関するよくある質問](#)。
- 質問がある場合は医師に相談してください。